

職種	教授
募集人員	1名
勤務場所	京都大学大学院医学研究科医学教育学（医学教育・国際化推進センター） （所在地：京都市左京区吉田近衛町）
職務内容	卒前教育と卒後教育のシームレス化時代に即した医学教育のシステム構築とマネジメント並びに医学教育学研究 本学の優れた人材育成施策を継承し、学生や教員との対話を重視しつつも、国際的な視点から最新の教育理論や情報通信技術を取り入れ、より時代に即し、本学の医学教育・国際化推進センターをセンター長と密接に連携して運営し、医学教育システムへと発展させられる人材を期待する。Post/withコロナ時代の教育システム構築、認証評価、カリキュラム改定、海外交流支援、デジタルリテラシーなど、医学教育に関わる喫緊の課題を横断的にマネジメントできることが求められる。また、新しい時代に適した医学教育学を発信し、日本の医学教育学をリードするとともに次世代を担う人材を育成することも求められる。
資格等	・医師免許を持ち、博士の学位を取得していること。 ・その他の条件：なし
採用日	採用決定後できるだけ早い時期
任期	なし
試用期間	あり（6ヶ月）
勤務形態	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分相当、週38時間45分相当） 休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日
給与・手当等	本学支給基準に基づき支給
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入
応募方法	以下の応募書類を下記宛先に郵送のこと ・履歴書 ・研究業績目録 ・主な科学研究費等の採択状況（代表者・分担者を明記） ・研究（業績）の概要と抱負 ・教育（実績及びマネジメント）の概要と抱負 ・診療実績 ・主な論文別刷（10編以内） ・申告書 申告書を除く書類及び論文別刷は7部提出してください。（6部はコピーで可） なお、推薦の場合は推薦書を添付願います。 提出いただいた書類は、原則として返却いたしませんのでご了承下さい。 （注）提出書類記載要項 1. 履歴書はA4版、横書きで記載のこと。 （1）氏名（ふりがな）、捺印、性別、生年月日、満年齢、改姓年月日（旧姓）、現住所、郵便番号、現職名、連絡方法を記載のこと。 （2）学歴（高校卒業以降）、免許、学位 （3）職歴（外国出張等も記載のこと） （4）賞罰 （5）その他（所属学会名、役職名及び社会における活動） （6）履歴書の左上欄外に応募する講座名及び職名を記載すること。 なお、上記（1）～（5）における事項には、それぞれ年月日まで記載すること。 2. 研究業績目録 論文における文献の記載要領に準じて次の事項に留意すること。 （1）著者名（全員論文記載の順により本人のところにアンダーラインをする）、標題名、雑誌名、巻頁（始と終わりを示す）、発行年、単行本の場合は上記に準じ編者、発行所名などを含めること。 （2）用紙は、A4判を縦にし、横書き、番号を付してシングルスペースで記載すること。 （3）原著（和文・欧文別、年代順）、総説（和文・欧文別、年代順）、その他の順により、また、別刷を添付したものには○印を付すること。 3. 主な科学研究費等の採択状況 科学研究費及びその他の助成金の種類、課題名、代表・分担を区別して年度順に記載すること。 4. 研究（業績）概要と抱負 2,000字以内で記載すること。 5. 教育（実績及びマネジメント）の概要と抱負 2,000字以内で記載すること。 6. 診療実績 2,000字以内で記載すること。 7. 申告書 http://www.med.kyoto-u.ac.jp/researcher/koubo/oubo-syorui-yoshiki/ （医学研究科HP⇒研究者の皆様へ⇒応募書類様式⇒申告書⇒教員⇒基礎・社会医学系） 上記のURLより様式を印刷のうえ記載すること。 8. いずれの書類もA4判を縦にし、横書きで作成のこと。パソコンにより作成すること。提出書類の1～6に頁番号を付すること（全体を通して）。
応募締め切り	令和4年11月4日（金）必着
提出先・問い合わせ先	京都大学大学院医学研究科 総務企画課人事掛 〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 TEL：075-753-4304 ※封筒の表に「医学教育学教授応募書類在中」と朱書きすること
その他	選考過程及び採否の理由については一切お答えいたしかねます。 提出していただいた書類は、採用審査にのみ使用します。 正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。 京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。 出産、育児、介護等で研究を中断していた期間については、内容や期間を十分に考慮した上で審査を行います。 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。